

TIP療法

- * 3種類の点滴薬(パクリタキセル、イホスファミド=イホマイド[®]、シスプラチン)を使う治療法です。
- * 3~4週間を1コースとして以下の治療を繰り返します。
- * 体表面積は身長と体重から計算されます。

<1コース = 3~4週間>

1



パクリタキセル
(175mg/m²)

2



イホマイド[®]
(1200mg/m²)



イホマイド[®]
(1200mg/m²)



イホマイド[®]
(1200mg/m²)

3



シスプラチン
(25mg/m²)



シスプラチン
(25mg/m²)



シスプラチン
(25mg/m²)

21

28

(日)

飲み薬(吐き気止め)

1日目

アプレピタント®カプセル125mg
1回1錠 化学療法開始1時間前に服用



2, 3日目

アプレピタント®カプセル80mg
1日1回 1回1錠 朝食後



1~6日目

オランザピン®錠5mg
1日1回 1回1錠 夕食後



点滴 1日目

<メイン>

① 15分



③ 3時間



④ 1時間



⑤ 2時間



⑥ 1時間



お薬によるアレルギーを
予防する薬が混ざって
います。

- ・パロノセトロン
- ・デキサート®
- ・ファモチジン®
- ・ポララミン®

パクリタキセル®が
混ざっています

尿をアルカリ化するため
の薬が混ざっています。
・メイロン7%静注®

イホマイド®が
混ざっています

腎臓への影響を防ぐた
めに必要な電解質を補
充します。

- ・硫酸マグネシウム®

尿をアルカリ化するため
の薬が混ざっています。
・メイロン7%静注®

<側管>

② 30分



⑤ 30分



出血性膀胱炎予防の
ための薬が混ざって
います。

- ・ウロミテキサン®

※出血性膀胱炎・尿が赤みを帯びる、残尿感がある、排尿時に痛みがあるなどの症状があれば、スタッフに知らせてください。

点滴 1日目

<メイン>

⑦ 2時間



シスプラチン®が混ざっています



⑨
シスプラチン
終了後に注射



利尿剤を注射します。
腎臓への影響を防ぐ
ために尿の量を増や
しシスプラチン®の
排泄を促します。
・フロセミド



⑩ 1時間



⑪ 1時間



⑫ 6時間



<側管>

⑧ 30分



出血性膀胱炎予
防のための薬が
混ざっています。
・ウロミテキサン®



⑬ 30分



出血性膀胱炎予
防のための薬が
混ざっています。
・ウロミテキサン®

点滴 2, 3日目

<メイン>

① 6時間



② 1時間



尿をアルカリ化するための薬が混ざっています。
・メイロン7%静注®



④ 2時間



イホマイド®が混ざっています



⑤ 1時間



腎臓への影響を防ぐために必要な電解質を補充します。
・硫酸マグネシウム®
尿をアルカリ化するための薬が混ざっています。
・メイロン7%静注®



<側管>

③ 15分



お薬によるアレルギーやを予防する薬が混ざっています。
・デキサート®



④ 30分



出血性膀胱炎予防のための薬が混ざっています。
・ウロミテキサン®



点滴 2, 3日目

<メイン>

⑥ 2時間



シスプラチン®が混ざっています



⑧
シスプラチン
終了後に注射

利尿剤を注射します。
腎臓への影響を防ぐ
ために尿の量を増や
しシスプラチン®の
排泄を促します。
・フロセミド



⑨ 1時間



⑩ 1時間



⑪ 10時間
(* 3日目 2時間)



<側管>

⑦ 30分



出血性膀胱炎予
防のための薬が
混ざっています。
・ウロミテキサン®



⑫ 30分



出血性膀胱炎予
防のための薬が
混ざっています。
・ウロミテキサン®